

1

●初期消火の目的=火災を早期発見し、被害を最小限にとどめること

1 火災発生



電話が長引いているうちに、油鍋に火が入りました！

2 初期消火判断



天井まで火は届いていません。まだ消すことができます。

「火事だ！火事だ！」と叫びながら、周囲に火災を知らせます。

3 消火器の準備



慌てずに消火器を準備します



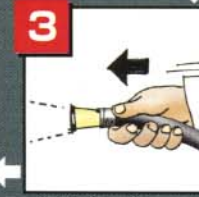
運搬する時



ピンを抜き



にぎる



ノズルを火元に向ける

4 消火活動



火元に向けて消火剤を放出します。火が消えたら、ガスの元栓を閉めます。

※ 消火後、天ぷら鍋の温度が完全に下がったことを確認してください。

●よくある失敗例（油鍋に水）



油鍋に向かって水をかけると、炎が飛び散ってしまい大変危険です。

●屋内消火栓の操作訓練

屋内消火栓には2つのタイプがあり、それぞれ操作要領が違います。

1 1号消火栓

1号消火栓は、ホースが折りたたまれて消火栓ボックスに収納されているため、ホースを延長した後でないと水をホース内に流すことができません。このため、ホースを火元付近まで延長し放水する人と消火栓のバルブを開放する人の、最低でも2人の操作員が必要となります。

①消火栓ポンプ起動



発信機のボタンを押し、消火栓ポンプを起動します。

②ホース延長



ホースにねじれがないように確認しながら延長し、出火箇所に向かいます。

③バルブ開放・放水

出火箇所に接近した操作員の放水準備ができれば「放水はじめ！」の合図で、消火栓のバルブを開放し放水します。



ホースを延長する前にバルブを開けると、水で充満したホースがボックス内に拡がって取り出せなくなる事があります。必ず操作手順を守ってください。



2 2号消火栓・易操作性1号消火栓

2号消火栓・易操作性1号消火栓は、ホースがドラムに収納されているため、収納状態でもホース内に水を流すことができます。このため、一人で操作することができます。

①バルブ開放

バルブを開放すると消火栓ポンプが起動します。



②ホース延長



ホースを持ちながら、出火箇所に向かいます。

③放水

ホースノズルのコックを開き放水します。



1. 訓練中は安全を管理する担当者を設けましょう。
2. ホースを延長するとき障害となる物がないか確認しましょう。
3. 放水する時はノズルから絶対に手をはなさないようにしましょう。
4. 火災の時、いきなりドアを開けると空気（酸素）が流れ込み一気に火勢が強まる場合がありますので、まずドアを少し開いて、様子を見てからドアを開けましょう。

違反是正支援センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16日本消防会館
財団法人日本消防設備安全センター内

1 火災発生

ベル鳴動

ジリジリ!



自動火災報知設備のベルが鳴りました。
どこかで火災です。

2 火災発生場所の確認



すぐに受信機で出火階を確かめ、
現場に行き、火災の有無を確認し
ます。



3 館内への報知



ビル内に大きな声で、火事を知らせ
ます。

携帯拡声器等が準備されていれば、なお
良いでしょう。



4 消防へ通報



速やかに消防に通報します。

- 火災か救急か
- 所在地、ビル名
- 何が燃えているか
- 階数
- 目標物
- 危険物の有無など
- 通報者氏名・電話番号
を正確に通報します。

落ち着いて、119番通報メモの項目にそって通報してください。

119番通報メモ

1 火事ですか・救急ですか？

火事です・救急です

2 住 所

市・区・町・村 町 丁目 番 号

建物(ビル)の名称・階数・店名は…

3 何が燃えていますか (出火箇所はどこですか?)

4 目標となるもの

近くにある目標となるものは…

5 通報者の氏名

あなたの氏名

6 通報者の電話番号

電話番号

この公衆電話の番号は… ()

※この119番通報メモに通報項目を記入して、電話機の前などに貼っておくと便利です。

携帯電話・PHSからの通報

携帯電話・PHSからの通報は、その地域の「代表消防本部」を経て管轄の消防本部につながります。管轄外で土地勘に不慣れなため、通報内容の確認に手間取るなどの問題が起きていますので、できるだけ詳しく住所・建物名を把握して通報してください。



通報事項

- 火事ですか・救急ですか?
- 所在地町名、番地、ビル名
- 燃えているものは何ですか
- 目標となるものは?
- あなた(通報者)のお名前
- 携帯電話の番号(再通信のため)

違反是正支援センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16日本消防会館
財団法人日本消防設備安全センター内

階段・通路を使用した場合

1 火災発生

ベル鳴動

ジリジリ!



自動火災報知設備のベルが鳴りました。
どこかで火災です。

2 火災発生場所の確認

2Fで火事です。
落ち着いて指示に従ってください!



お店にいるお客様に火災の発生を知らせ、指示に従うように伝えます。

イラストのように、携帯拡声器等が準備されていれば、なお良いでしょう。

3 館内への報知

4 避難誘導



エレベーターの使用を禁じ、非常口、避難階段を示します。

頭を低く、おしぼり、ハンカチを鼻・口にあてて煙を吸い込まないように指示を出します。



5 避難者の確認

皆さん無事ですか!



お客様の人数、けが人の有無を確認し、もし、けがをした人及び逃げおくれた人がいれば、消防隊に報告します。

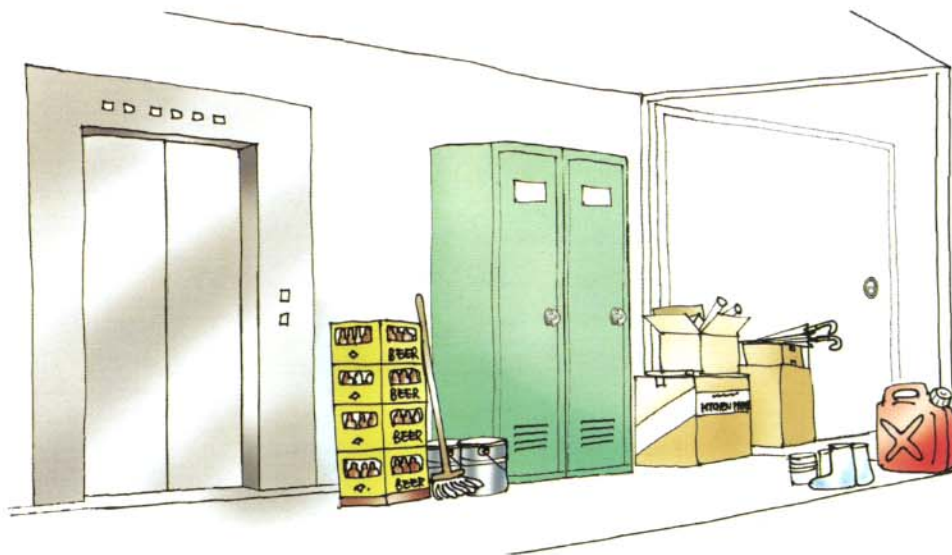
3

●避難通路・避難階段の維持管理

避難通路



これでは
消防法違反です。



避難通路に物が放置されていたり、非常口がふさがれていると、避難経路が断たれ、大変危険です。

避難階段



これでは
消防法違反です。



避難階段が倉庫代わりになった状態。階段に物が放置されていると、避難経路が断たれ、大変危険です。

違反是正支援センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16日本消防会館
財団法人日本消防設備安全センター内